

報 告 書

第 30 回 日本山岳耐久レース（24 時間以内）～長谷川恒男 Cup 大会モニタリングレポート



主催：一般財団法人 日本山岳スポーツ
日本山岳耐久レース（24 時間以内）～長谷川恒男 Cup 実行委員会

1. 大会概要

- ①大会名 第30回日本山岳耐久レース（24時間以内）～長谷川恒男 Cup
- ②コース 秩父多摩甲斐国立公園を含む 71,5km
- ③開催日時 2022年10月9日（日）13:00 ～ 10月10日（月）13:00
- ④主催者名称 一般財団法人 日本山岳スポーツ協会
- ⑤参加人数（実際） 1,876名

2. 環境影響モニタリング

(1) 事前環境影響モニタリングの概要

- ・10月3日（月）の1日間実施。 地点①～③の調査実施

(2) 事後の環境影響モニタリングの概要

- ・10月14日（金）の1日間実施。 地点①～③の調査実施

(3) 環境影響モニタリング結果

- ・立地調査の結果、2カ所の地点に於いて微小な路面状況の変化が見られた。
- ・要因は大会当日の天候が雨で路面が水分を含み柔らかくなった状態で参加者が通過した為と考えられる。
- ・地点1、3は傾斜角が平坦である事と土壌が土の為、雨によって水たまりができ、踏跡が残っていた。
- ・地点2は急傾斜で速度が上がる区間であるが土壌が礫混じりの為、路面の変化はみられなかった。
- ・既存構造物や動物環境の調査結果に於いては、大会開催による影響は見られなかった。
- ・参加者数1900人規模の当大会開催による調査結果は土壌が土で 傾斜角が無かった地点で影響が発生したと考えられる。

3. 利用影響モニタリング

- ・利用影響モニタリングを10月10日（月）09:00～12:00に日の出山山頂に於いて実施。モニタリングを11名にて行った。

大会等の関係者（ランナー含む）からのコメント。苦情はありませんでした。

- ・この辺りはコンディションが良いが、途中からとにかく上りも下りも泥んこレース。滑るしぬかるみにはまっては足を取られた。（ランナー）
- ・大会のことは知らなかった。つるつる温泉から梅野木経由で上がってきたので選手とはすれ違いはなかった。将来は子供にもチャレンジさせたい。（登山者）

4. 問い合わせ先

一般財団法人日本山岳スポーツ協会

担当：岸 正夫

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 6-3-23 アイビービル 205号室

電話番号：03(3492)0355、メール：trailrun@hasetsune.jp

1. モニタリング調査地点一覧

地点名	地点位置	選定理由	モニタリング方法	アドバイス
1	秩父多摩甲斐国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 ムシカリ峠から三頭山へ向かって約 150m の地点	路面にぬかるみ が生じる懸念が ある地点	大会前後の写真を撮影、立地 調査と路面状況調査をおこ なう。	奥多摩環境事務所
2	秩父多摩甲斐国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 鞆口峠から三頭山へ向かって約 1,000mの地 点	路面にぬかるみ が生じる懸念が ある地点	大会前後の写真を撮影、立地 調査と路面状況調査をおこ なう。	奥多摩環境事務所
3	秩父多摩甲斐国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 鞆口峠から風張峠へ向かって約 550mの地 点	木製階段が設置 されている手前 の地点	大会前後の写真を撮影	奥多摩環境事務所

2. 環境影響モニタリング地点 地図全体概要

2.1 調査地点

調査地点は東京都の指定により、以下に示す3地点とした。



2.2 調査項目

トレイルランニング大会モニタリング仕様に基づき、以下の調査を実施した。

- ①立地調査
- ②路面状況調査
- ③動物調査
- ④付帯構造物状況調査

環境影響モニタリング調査 地点1 概要

調査地点1	秩父多摩国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 ムシカリ峠から三頭山へ向かって約150mの地点	
調査年月日	大会前調査:	2022年10月3日 9:15~11:25 天候:晴
	大会後調査:	2022年10月14日 12:00~14:10 天候:雨
調査実施者	京浜企業株式会社 景山鉄也、花城清人、高柳賢太	
地点座標	N35° 44' 14.00" E139° 00' 46.31"	

3. 環境影響モニタリング結果 地点1

3.1 地点1

3.1.1 立地調査

地点座標	N35° 44' 14.00" E139° 00' 46.31"
傾斜角度	1.1° (路面下方)~1.1° (路面上方)
表土区分:土壌	土
表土区分:根	根無
表土区分:洗掘	無

↑
写真①

写真②
↓

↑
三頭山
ムシカリ峠
↓

写真⑤	写真⑥	写真⑦
写真⑧	写真⑨	写真⑩
写真⑪	写真⑫	写真⑬

↑
写真③

写真④
↓

①概況写真(写真①～④)

・大会前



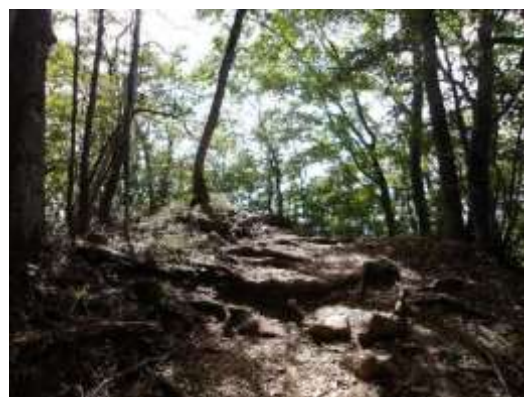
写真①



写真②



写真③



写真④

・大会後



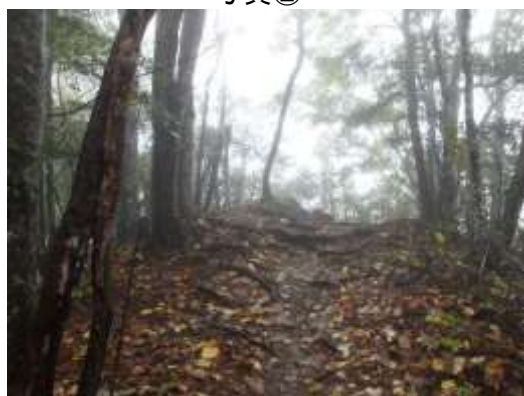
写真①



写真②



写真③



写真④

②地点写真(写真⑤~⑬)

・大会前



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

・大会後



写真⑤



写真⑥



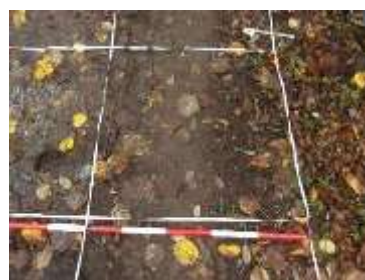
写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



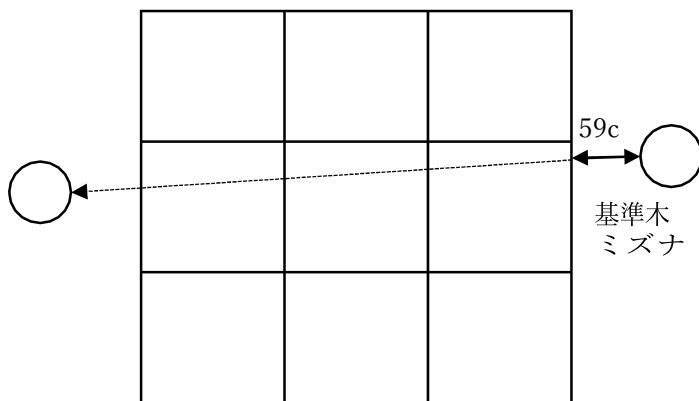
写真⑫



写真⑬

3.1.2 路面状況調査

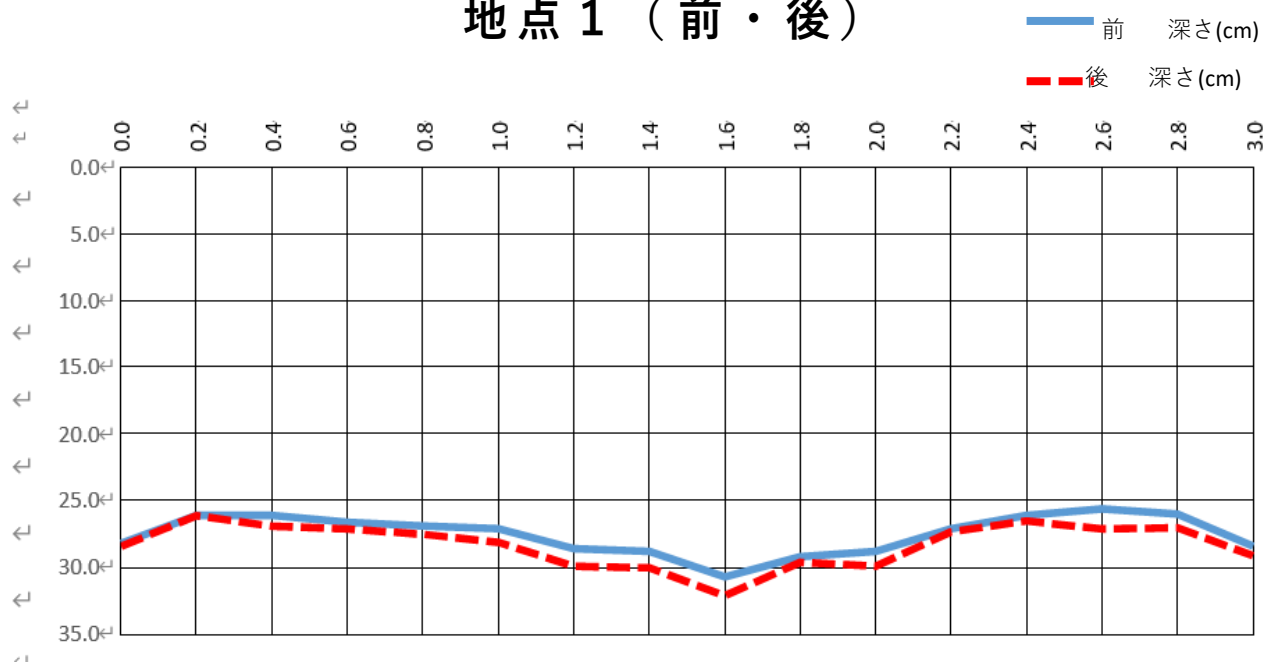
基準木の地表から25cmの部分に基づき横断線を定めた。大会前後の結果を以下に示す。



傾斜角測定中

水平距離(m)	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0
前 深さ(cm)	28.2	26.1	26.1	26.6	26.9	27.1	28.6	28.8	30.7	29.2	28.8	27.1	26.1	25.6	26.0	28.4
後 深さ(cm)	28.4	26.1	26.9	27.1	27.5	28.1	29.9	30.0	32.1	29.6	29.9	27.3	26.5	27.1	27.0	29.1

地点 1 (前・後)



3.1.3 動物調査

動物は確認できなかった

3.1.4 付帯構造物調査

調査区域内には無し

環境影響モニタリング調査 地点2 概要

調査地点1	秩父多摩国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 鞆口峠から三頭山へ向かって約1000mの地点	
調査年月日	大会前調査:	2022年10月3日 11:25~12:35 天候:晴
	大会後調査:	2022年10月14日 14:10~15:00 天候:雨
調査実施者	京浜企業株式会社 景山鉄也、花城清人、高柳賢太	
地点座標	N35° 44' 21. 38" E139° 01' 01. 58"	

3. 環境影響モニタリング結果 地点2

3.2 地点2

3.2.1 立地調査

地点座標	N35° 44' 21. 38" E139° 01' 01. 58"
傾斜角度	22.1° (路面下方)~14.4° (路面上方)
表土区分:土壌	土、礫混じり
表土区分:根	根無
表土区分:洗掘	一部有

↑
写真①

写真②
↓

↑
鞆口峠
三頭山
↓

写真⑤	写真⑥	写真⑦
写真⑧	写真⑨	写真⑩
写真⑪	写真⑫	写真⑬

↑
写真③

写真④
↓

①概況写真(写真①～④)

・大会前



写真①



写真②



写真③



写真④

・大会後



写真①



写真②



写真③



写真④

②地点写真(写真⑤~⑬)

・大会前



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

・大会後



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



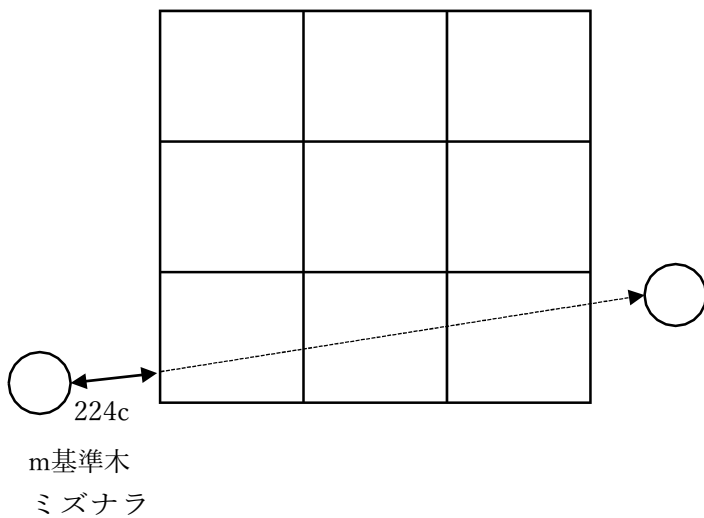
写真⑫



写真⑬

3.2.2 路面状況調査

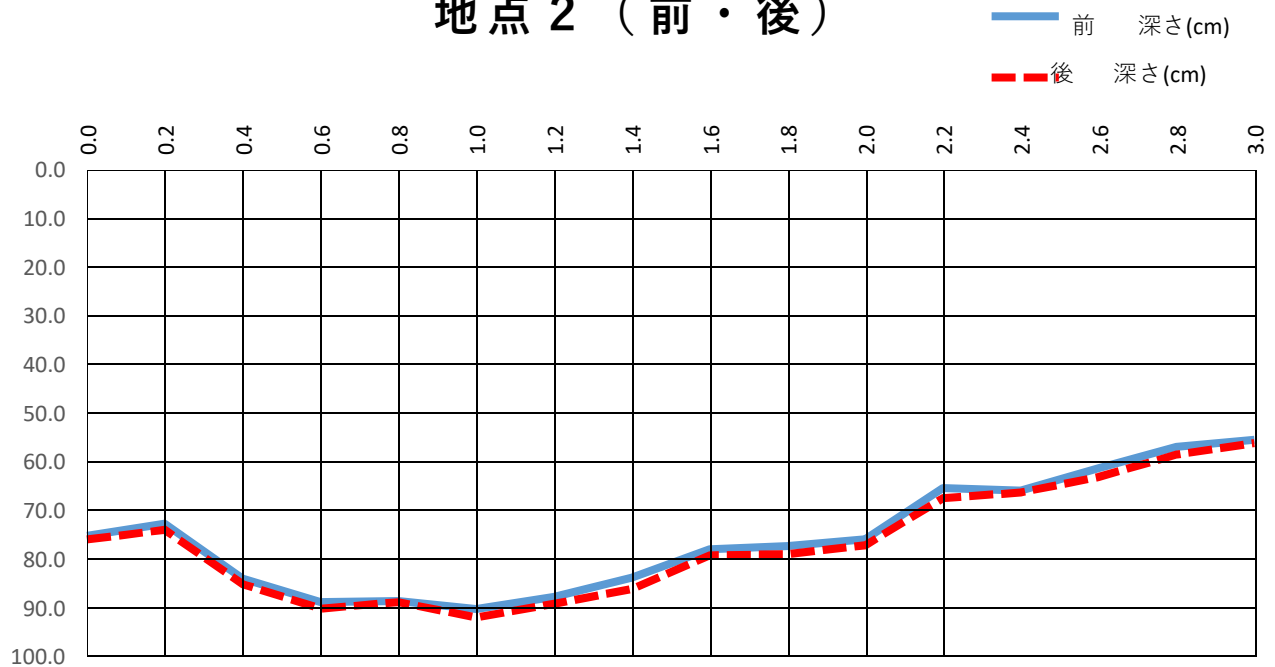
基準木の地表から40cmの部分に基づき横断線を定めた。大会前後の結果を以下に示す。



傾斜角測定中

水平距離(m)	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0
前 深さ(cm)	75.2	72.7	84.0	88.8	88.6	90.2	87.7	83.8	77.9	77.3	75.9	65.4	65.9	61.3	56.9	55.4
後 深さ(cm)	75.9	73.9	85.1	90.1	88.8	91.9	89.1	86.1	79.2	78.9	77.1	67.4	66.2	63.1	58.5	56.1

地点 2 (前・後)



3.2.3 動物調査

動物は確認できなかった

3.2.4 付帯構造物調査

調査区域内には無し

環境影響モニタリング調査 地点3 概要

調査地点1	秩父多摩国立公園 東京都檜原都民の森 登山道 鞆口峠から風張峠へ向かって約550mの地点	
調査年月日	大会前調査:	2022年10月3日 12:35~15:15 天候:晴
	大会後調査:	2022年10月14日 15:00~17:15 天候:雨
調査実施者	京浜企業株式会社 景山鉄也、花城清人、高柳賢太	
地点座標	N35° 44' 39.76" E139° 01' 51.29"	

3. 環境影響モニタリング結果 地点3

3.3 地点3

3.3.1 立地調査

地点座標	N35° 44' 39.76" E139° 01' 51.29"
傾斜角度	0.4° (路面下方)~1.0° (路面上方)
表土区分:土壌	土
表土区分:根	一部浮き有
表土区分:洗掘	無

↑
写真①
写真②
↓

↑
風張峠
鞆口峠
↓

写真⑤	写真⑥	写真⑦
写真⑧	写真⑨	写真⑩
写真⑪	写真⑫	写真⑬

↑
写真③
写真④
↓

①概況写真(写真①～④)

・大会前



写真①



写真②



写真③



写真④

・大会後



写真①



写真②



写真③



写真④

②地点写真(写真⑤~⑬)

・大会前



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

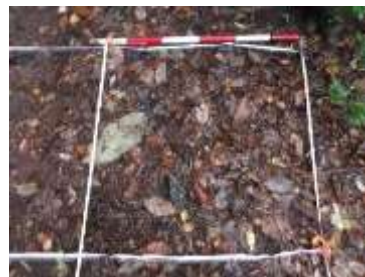
・大会後



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



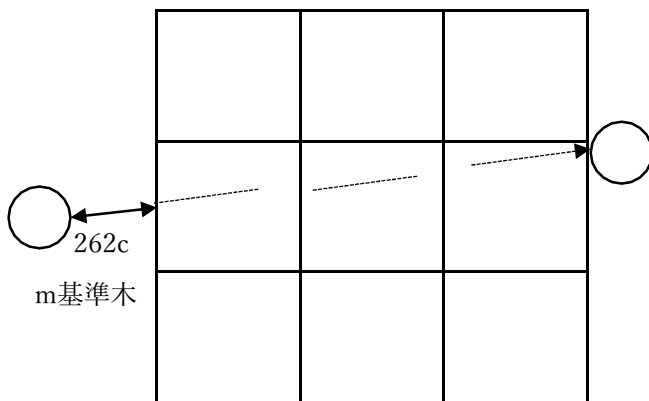
写真⑫



写真⑬

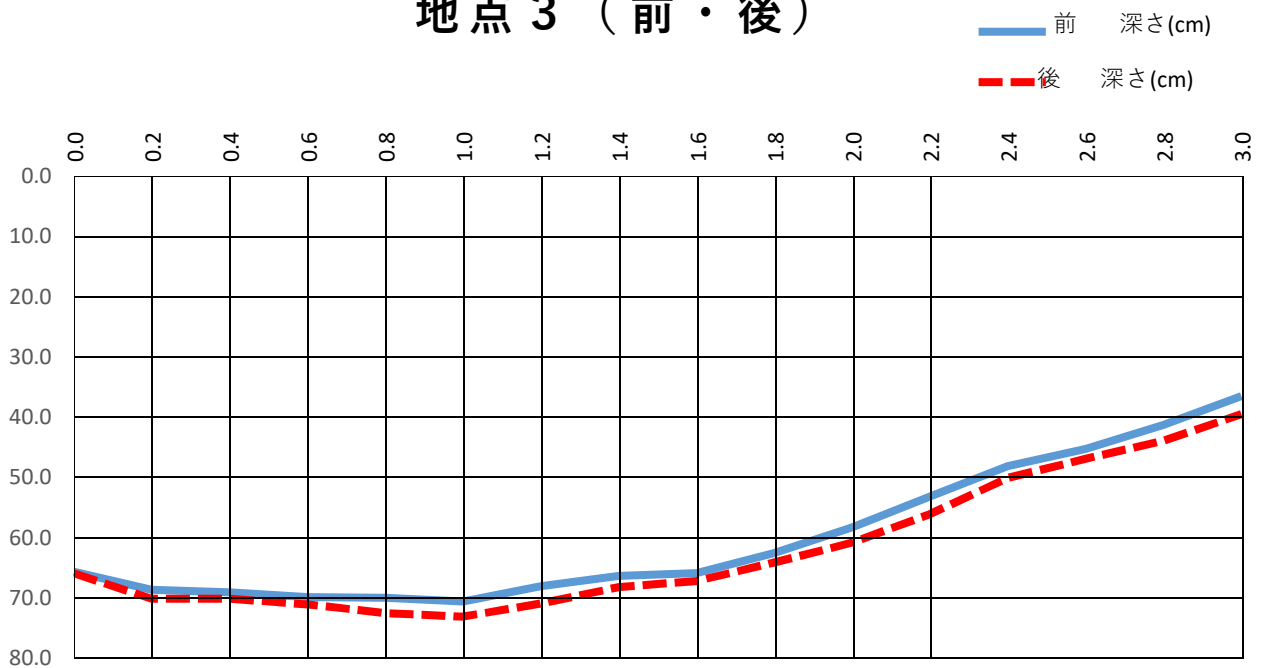
3.3.2 路面状況調査

基準木の地表から94cmの部分基準に横断線を定めた。大会前後の結果を以下に示す。



水平距離(m)	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0
前 深さ(cm)	65.7	68.7	69.1	69.9	70.0	70.6	68.1	66.4	65.9	62.6	58.3	53.2	48.2	45.3	41.3	36.5
後 深さ(cm)	65.9	70.1	70.1	71.1	72.5	73.1	70.9	68.2	67.2	64.1	60.8	56.1	50.1	46.9	43.9	39.5

地点 3 (前・後)



3.3.3 動物調査

動物は確認できなかった

3.3.4 付帯構造物調査

調査区域内には無し

大会当日気象データ

<大会当日の気象状況について>

- ・大会両日は降雨が続いた。警報及び注意報は出ていなかった。

年月日	平均気温(°C)	最高気温 (°C)	最低気温(°C)	降水量の 合計 (mm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/s)
2022/10/9	13	16.3	11.1	9	0	0.8
2022/10/10	15.2	17.8	12.1	8.5	2.5	1

観測地点：小河内参照：気象庁 HP

利用影響モニタリング（日の出山山頂にて実施）

当日は雨が朝まで降るなどした影響で、山頂で見かけた登山者は 2 組だけだった。応援者は昼夜入れ替わりながら沢山来ていた。

▼ランナーからのコメント

- ・50 代男性 生憎の雨で非常に厳しいレース。ぬかるみや滑りやすいところ多数。見ての通り全身泥だらけです。超絶綺麗な雲海が見られたことはラッキーだった。
- ・40 代男性 この辺りはコンディションが良いが、途中からとにかく上りも下りも泥んこレース。滑るしぬかるみにはまっては足を取られた。

▼大会スタッフのコメント

- ・50 代男性 朝からの雨で登山者は、ほぼ見かけなかった。4 年ぶり開催出来て嬉しい。
- ・50 代女性 選手の励みになればと、沢山の声援を送ることができた。明け方の雲海は素晴らしかった。

▼登山利用者のコメント

- ・70 代(女性 4 人組) 御岳ケーブルから来た。大会開催のことは知らなかった。選手が来ることを伝えたところ、山頂で応援をしてくれて選手と一緒に写真を撮影して楽しんでいた様子。
- ・家族連れ(大人 2 名、子供 2 名) 大会のことは知らなかった。つるつる温泉から梅野木経由で上がってきたので選手とはすれ違いはなかった。将来は子供にもチャレンジさせたい。

<応援に来ていた人>

- ・60 代 男性 あきる野市在住 知り合いが沢山出ているので応援をしに来た。
- ・50 代 女性 (トイレ前での応援者) 下から上がってくる選手にエールを送っている。今日は長時間の応援に備えて椅子を用意してきた。

10月歩道整備の実施報告

今回は、平坦な部分及び下りの下部での踏圧による歩道の隆起や端部のストック跡などが観察できました。

11月11日までに3回(10月15日、10月22日、10月23日)の整備を実施済み。未実施箇所や下記以外の部分については今後計画的に実施していく。

▼公園管理事務所指摘箇所について(10月23日実施)

①三頭山山頂下部の裸地化した歩道部分がぬかるんで足跡が多数ある…10月16日時点では、足跡を確認できた。しかし23日の訪問時には登山者の踏圧により、平坦になっていたため作業なし。その先の200mほどの平坦部では、歩道の谷側にストック跡が見られたため、埋め戻した。



②鞍口峠から500m程の九十九折れの歩道で、コースアウトが一部で発生した模様。

歩道から外れて尾根を下りたことが確認できた。
その際にスリップしたことによりできた隆起を均した。
来年はテープなどで規制を検討いたします。

歩道は自然に右折する方向に設置されているが、選手は黄色矢印の木立へ向かって直進した。これは視界不良若しくは足元ばかり見ていたことが原因と推測される。指差し方向が歩道。



▼月夜見第二駐車場から御前山への歩道について(10月22日実施)

①カタクリ群生地の杭のある部分。ぬかるんだ部分で踏圧により歩道端部で隆起が確認出来たので均した。柵を超えて侵入したとの指摘もあったが、そのような状況は観察できなかった。



以前から倒れていたロープ柵用の杭を全て立て直しました。(柵の破損は今大会によるものではありません)

②小河内峠付近でぬかるんで足跡が多数。均せる部分は作業をおこなったが作業量が次回継続とした。また谷側への滑落により歩道下の草地を歩行した跡が観察できた。

③駐車場からの下り口で裸地化した斜面において、ぬかるんだことにより足跡が多数。作業量が多く次回とした。

▼浅間峠(10月15日実施)

東屋への下りと上り部分でぬかるんだことにより足跡が多数見られた。該当部分を均した。

